

国際見本市会場インテックス大阪は、昭和 60 年 5 月、日本経済の高度成長や技術革新の進展に伴って大規模化した見本市・展示会に対応できる見本市会場が必要という時代のニーズを背景に、大阪の経済・文化の交流の拠点とすべく、最先端の設備と規模を有する見本市会場として南港コスモスクエア地区に誕生しました。

開業以来、見本市・展示会を中心に多種多様なイベントが開催され、国内はもとより世界各国からご来場いただくなど、大阪の経済の活性化、賑わい創出の一翼を担っています。また、令和元年（2019 年）には「G20 大阪サミット」の会場となり、大阪の知名度のアップと都市の格付けの向上に貢献するとともに、インテックス大阪が快適で安全な施設として世界に発信されました。

しかしながら、今般の新型コロナウイルス感染症拡大に伴いインテックス大阪においても約 4 か月間、活動の制限を余儀なくされたところです。

7 月よりイベントを再開するにあたり、日本展示会協会のガイドライン及び大阪観光局のガイドライン等を遵守しながら新型コロナウイルス感染症拡大予防の取り組みを定め、ご来場の皆様・主催者の皆様・地域の皆様のご理解・ご協力を賜りつつ、安全安心な展示会の再開を期したところです。

皆様には感染拡大予防に努めていただき、誠にありがとうございます。おかげさまで、来場者数は抑えつつも順調にイベントを開催しており、「賑わいが戻ってきた」「内容の濃い商談ができた」などのお声をいただいています。また、大阪市と連携し、今年度は施設基本使用料を半額にしていることもあり、新規イベントのお問い合わせもいただいているところです。

現在、海外からのイベント開催は引き続き厳しい状況にあります。ICT を活用したバーチャル・イベントを併用するなど新たな手法を用いながら、多彩な展示会を活発に開催しています。

今後もよりいっそう安全安心な展示会の開催に努めてまいりますので、皆様のご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

令和 2 年 11 月

一般財団法人大阪国際経済振興センター
理事長 中村 一 男